

南鳥島を活用した技術開発の進捗状況と今後の予定について

	期間	平成 27 年 4 月（開始）～28 年 2 月末まで		平成 28 年 3 月以降の予定
		本土での準備作業等	南鳥島での作業	
課題名	C1：軽量コンテナ	供試体の設計、 試験方法策定、 材料強度等の試験等	—	暴露試験開始（7月以降）
	C2：接岸・揚陸・揚重支援 システム	気象海象データ収集、 試験方法策定、 防舷材材料の特性試験等	—	波高計の設置等（10月以降） 実証試験（平成 29 年秋以降）
	D1：海水練りコンクリート （現地での耐久性試験）	供試体設計・製作、 試験方法策定	現地調査（渡島 2 名）	暴露試験開始（4月以降）
	D2：海水練りコンクリート （現地での施工技術の開発）	現地材料での供試体製作、 試験方法策定	本土へコンクリート骨材 輸送	暴露試験開始（4月以降）
	E1：鋼構造防食技術	供試体設計・製作 試験方法策定等	—	現地暴露試験（6月への前倒し の可能性につき検討中）
	F1：サンゴ礁増殖技術	現地調査の準備（ドローン による海中サンゴ分布調 査、波高計設置等）	—	現地調査（9月以降）

南鳥島での技術開発実施工程 (更新版) (平成 28 年 3 月 2 日現在)

現地実施項目	H27 年度				H28 年度				H29 年度				
	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	
岸壁工事	→												
海水練りコンクリート (現地耐久性試験) (D1)	製作・運搬・設置 ● 渡島 (現地調査)			→ 暴露試験 ● 供試体の現地への運搬等									
海水練りコンクリート (現地施工技術開発) (D2)	製作・運搬・設置 ● 運搬 (コンクリート骨材輸送)			→ 暴露試験 ● 供試体の現地への運搬等									
軽量コンテナ (C1)			強度等の試験		→ 耐食性評価 (暴露試験) ● 供試体の現地への運搬等								
接岸・揚陸・揚重支援 システム (C2)	→ 海象計設置・データ収集 ← 波高計の設置等											実証試験	
鋼構造防食技術 (E1)					← 破線矢印				製作・運搬・設置 ● 供試体の現地への運搬等				現地暴露
サンゴ礁増殖技術 (F1)	→ 現地調査 (ドローン調査、波高計設置等)								サンゴ礫投入・モニタリング				

(注1) 本工程表は、関係者間の調整により随時見直す予定。

(注2) 鋼構造防食技術 (E1) の破線矢印については、前倒しの可能性につき関係者で検討中。